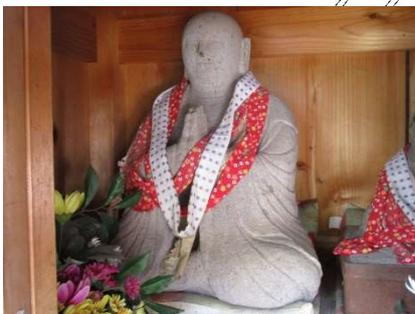


印西大師 番外 吉高・蕪和田堂（広畑堂）

- 1 名称 (No.127/241)〔手引鏡：かふはたどう〕〔資料館：かぶわた〕〔行程表：かぶわた堂〕
- 2 場所 印西市吉高535付近
吉高・迎福寺から道程約340m
GPS座標 35.78566451363825, 140.23857068696702
- 3 由緒
- 4 御堂 大師堂の中に丸彫りの御大師様が2体あり。
- 5 境内 大師堂のまわりは集会所
- 6 写真 (2023.05撮影)



大師堂



御大師様 (左)



御大師様 (右)



大師堂



御大師様



集会所

7 情報

(1) 板石塔婆（市指定有形文化財）

この板碑は、黒雲母片岩製で、長さ117cm、幅93cmあります。十三仏種字と造立の趣意が刻まれた下総型板碑で、下総型の十三仏種字板碑としては古く、大型です。十三仏とは死者の年忌をつかさどる13の仏を指し、永和4年（1378年）に沙弥道妙、妙一という夫婦が自身の逆修供養（生前に死後の供養を自らから行う）のために造った銘が刻まれています。（印西市HPより）

蕪和田堂の北西、道程約180mのところにあります。